

場 所		分 類	
原子炉建屋内	RB	Z 5	1 時間
タービン建屋内	TB		2 距離
R ZONE	R		3 遮へい
Y ZONE	Y		4 線源の除去
G ZONE	G		5 遠隔、バッタ化
その他( )	(Z)		6 汚染拡大防止
			7 その他

## 被ばく低減対策好事例集

内 容	正確な被ばく線量算出を目的とした放射線管理情報収集方法		
作業場所	1F構内全域		
概 略	被ばく低減対策を含む工事計画策定や除染などの工事成果を正しく評価するための放射線管理情報収集とその活用		
評 価 (定性・定量)	効 果	対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	下表参照
		人工数(人日)	--
事例詳細			

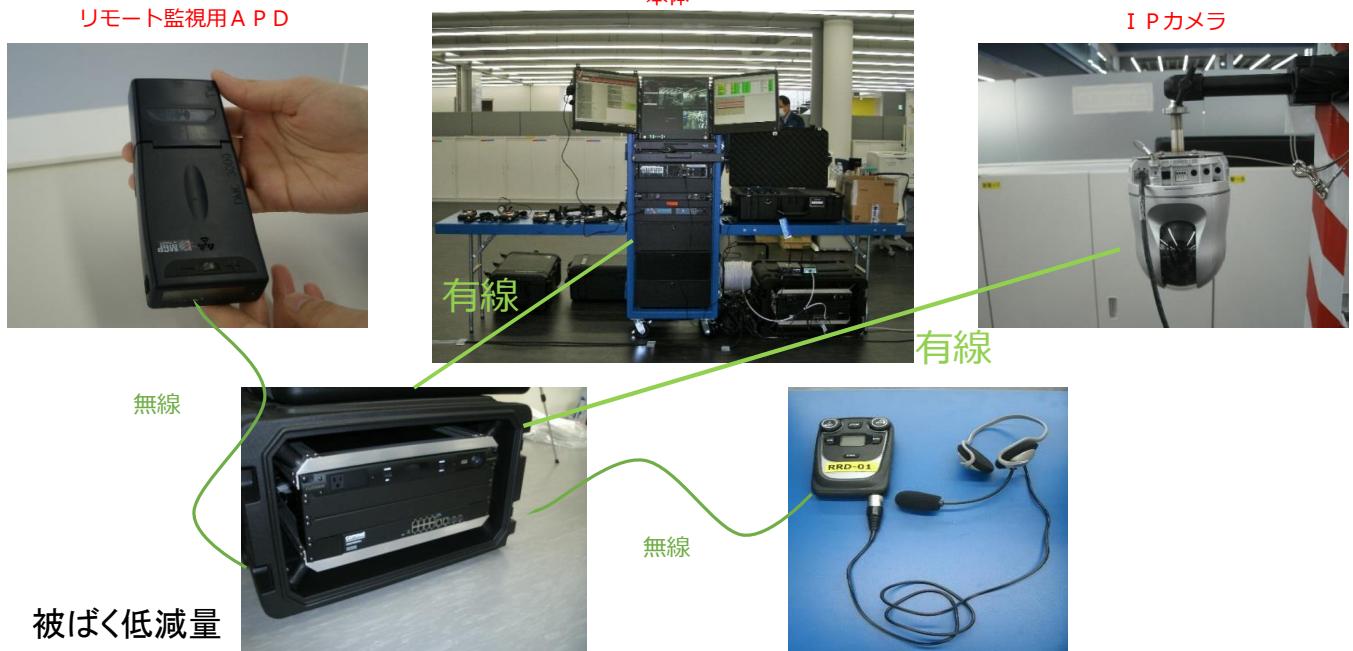
対策前 管工事施工にあたり、工事管理者の被ばくが増大する傾向が強かった。

対策内容 Remote Monitoring System(RMS)を使った工事監理により、工事管理者の被ばく低減を図っている

### RMSの概要

「IPカメラ」「ヘッドセット」「リモート監視用APD」で構成

本体



企業	期間(作業日数)	作業エリアの幾何平均(mSv/h)	効果(時間(分))	効果分被ばく線量(人・mSv)
A社	H30.4.19～H30.7.27(72)	0.238	0.67(40)	11.42
B社	H30.6.5～H30.7.31(35)	0.294	0.33 (20)	3.43
C社	H30.8.7～H30.10.15(43)	0.294	0.33 (20)	4.21